

パートナーシップ・セミナー【宇城市】

総事業費	18 千円
交付金額	9 千円

地域の実情と課題

男女共同参画を推進するうえで、本市ではこれまで働く女性を中心に女性のキャリアアップに焦点をあて、各種セミナーを開催してきた。一方で、子育てや介護など家庭の事情で会社勤務ができない環境やその機会を逃してしまった女性に対しての支援は十分とはいえず、こうした女性の活躍の機会を広げるための支援などに課題がある。

目的・目標

自己の能力や経験を活かし活躍したいという思いを抱えている女性のために、起業に関する大切なポイントやノウハウなどの支援を行い活躍の場を広げてもらうことを目的とした。市広報紙・ホームページ、世帯回覧、関係各課を通じて広く周知し12人の定員に対し10人の応募があった。参加者満足度は目標90%に対し、96.3%だった。

事業の特徴

初心者向けの女性起業セミナーとして、3回のシリーズで開催した。起業をするうえでその根本となる自己実現に関して無意識の観念や思い込みを解消し、真に自分が求めているもの、起業により実現したいことを見つめ発展させていくことの重要性などに関する講義や起業をするうえで必要となる具体的な経営手法として、ビジネスモデルの作成などについてセミナーを実施。3回のうち2回は総務省地域情報化アドバイザー派遣事業を活用した。

連携団体

宇城市男女共同参画社会推進委員会へ定期的な会議等を通じてチラシを配布し、パートナーシップ・セミナー開催の地域への周知と参加の呼びかけに協力を依頼した。また、市の起業に係る担当部署と連携し、参加者に対し本セミナー後のフォローに関する相談機関や補助事業に関する情報提供を行った。

事業の効果

セミナー参加者は延べ21人で、少人数であったことから起業をする上での不安や悩みなど一人ひとりに講師が寄り添って助言ができた。そのためアンケートでは1回目の満足度88.9%、2回目、3回目は満足度100%という結果で、特に2回目は全員が大満足という評価だった。セミナー後、参加者同士の情報交換も行われ、つながりも生まれていた。参加者からは「描いていたものを具体的にイメージすることができた」「漠然と考えて参加したが、2.3年後は実際に起業をしたい」という声も寄せられた。

今後の課題

今回は3回のシリーズで開催したが、参加者のアンケートで「もっと勉強したい」という感想があったように、実際に起業をする場合は回数が足りないと思われる。今回は導入部分として、今後は更に必要なスキルや情報、起業後のフォローも併せて計画していく必要がある。また、何となく参加した人、即起業を考えて参加した人など参加者の意識に温度差があり、今後は対象者、内容等をよく絞って実施する必要がある。

事業の概要

自己の能力や経験を活かし活躍したいという思いを抱えている女性のために、起業に関する大切なポイントやノウハウなどの支援を行い活躍の場を広げてもらうことを目的に、初心者向けの女性起業セミナーとして、3回のシリーズで開催。

まず、第1回で講師から起業をするうえで最も重要となる自己実現に関して、無意識の観念や思い込みを解消し、真に自分が求めているもの、起業により実現したいことを見つめ発展させていくことの重要性などに関する講義、第2回で不安や悩みの解消に向けた参加者同士の交流、第3回で講師から起業をするうえで必要となる具体的な経営手法としてビジネスモデルの作成などについて、講義を受けた。3回のうち第1回第2回は総務省地域情報化アドバイザー派遣事業を活用した。(講師派遣費用等の負担は無し)

少人数であったため、その分一人ひとりの不安や悩みに講師が寄り添い、起業におけるさまざまな局面での対処方法・心の持ち方、周囲との関わり方など今後の参考となる助言を受けることができた。セミナー後の参加者からは「前向きに一步進んで考えることができた。」「これまで起業してみたいと心に思い描くだけだったが、このセミナーを機に実際にやってみる。」という声もあった。

【第1回・第2回】 講師：総務省地域情報化アドバイザー 勝屋久さん

【第3回】 講師：税理士 谷本たまみさん



第1回 自分の個性や特技の活かし方、デジタルを活用した情報発信の方法



第2回 参加者同士の交流、不安や悩みのサポート



第3回 目標の設定から達成まで具体的な経営手法